

次世代 IT 労務月報

2025 年
9 月号
NO.37

発行者・文責



社会保険労務士 代表 井上 利明

〒501-1165 岐阜市西改田宮西 26-1 エス B101 号室
電話：090-2944-6028 FAX：058-234-0331
e-mail：inoue@next21it-sr.com H P：https://next21it-sr.com/



トピックス

- ◆開業三周年記念の御礼と今後について
- ◆社労士の勉強法についての振り返り（番外編）

●開業三周年記念の御礼と今後について

2022 年 9 月 1 日に開業してから、3 年が経過しました。

1 年目開業当初からずっとお付き合い頂いているお客様、2 年目以降から助成金申請を通じて快く顧問契約を交わして下さったお客様、顧客をご紹介して下さったご親切な方々には心から深く感謝申し上げます。

お陰様で昨年 6 月 1 日から事務所を新設してからも社労士業の仕事の案件が少しずつ増加しております。

しかし、近年の物価高騰や最低賃金の大幅引上げ等の影響により、廃業している事業所も増えております。政府はこの 2030 年代半ばまでに最低賃金を 1,500 円まで引き上げる方向で進めております。今年も全国平均 63 円の大幅な最低賃金の引上げが確定し、中小企業が引上げに対応するための対策をとっているかどうか今後重要になっていきます。この厳しい状況を乗り切るためには、物価高騰に見合った工賃の引上げがとても重要です。その方策としては下記とおり記載しました。

今後も労務管理等に関し「プラスαのサービスの提供」が実現できるように、全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



二度咲きした満開の胡蝶蘭（事務所内）

その1 原価管理の徹底

- ・時間チャージを正確に計算し、定期的に見直すこと。
- ・材料費、労務費、経費を削減すること。
- ・製造原価率を把握し、業界水準と比較して改善点を見つけること。



その2 生産性の向上

- ・設備投資を積極的に実施し、労働生産性を向上させること。（当社労務事務所では、毎年、最低賃金が引き上がる時期に業務改善助成金申請の手続き代行を承っておりますので是非ご活用下さい。）
- ・製造工程の無駄を削減し、不良在庫を減らすこと。
- ・従業員の勤怠管理を見直し（時間外労働の削減等）、効率的な労務管理を行うこと。

その3 価格設定の見直し

- ・適切な値上げ及び商品の価格帯を見直すこと。

● 社労士の勉強法についての振り返り（番外編）

私自身、社労士に合格するまで5年間かかりました。

今まで難関資格を目指したことがなかったため、TACの資格学校に通い、勉強時間がトータル7,388時間かかり大変な道のりでした。確かに大変だったものの途中で**勉強方法に問題があると気づいて何度も修正**していきました。試行錯誤の勉強法でしたが、1年目からの失敗談を含めて勉強法及び経過をご紹介しますと思います。

1年目 平成29年	TACの総合本科生コースを受講。 テキストの読み込みだけで勉強時間の大半を費やしていた 。問題集はTACの「トレーニング」を使ったが、テキストの読み込みが思った以上に大変で一回分しか解くことが出来なかった。案の定、テストや模試、本試験では殆どの内容を忘れていて、全く結果に結びつかなかった。	
2年目 平成30年	2回目も総合本科生コースを受講し、 アウトプット主体の勉強法 に切り替えた。問題集は主に「トレーニング」と「10年過去問（一問一答式）」を使い、 問題を解いた後は常に解答解説を読みながらテキストで条文を拾ってマーカーや書き込みを入れることにより知識が定着した 。これを 3回転以上 こなした。間違えた問題はチェックをつけることにより、2回目以降に解いた時に再度思い出し、弱点がくっきりと見えた。 テストや本試験では大きく成績が上がり、合格圏内まであと一步だった。	
3年目 令和元年	3回目の総合本科生コースで2年目と同じ勉強方法をすれば、もっと知識が定着し点数が上がって合格出来ると信じ、 前回と全く同じ勉強方法 （トレーニング問題集と10年過去問の一問一答式を3回転）を実行した結果、成績は2年目と殆ど変わらず、合格に至らなかった。	
4年目 令和2年	「五肢択一式問題を沢山解いて応用力を身に付けることが大事」とのTAC専門講師からアドバイスを受け、一問一答式は一切止めて五肢択一式問題を中心に切り替えた 。更に応用力を養うために 上級本科生のコース を選択した。 市販の模試、TACの模試、5年過去問を含む15種類以上の模試を3回転以上熟した（1年間で累計53回分） 。 上級演習本科生の難易度が格段に上がっていてテストの成績は散々だったが、落ち込む暇もなく、応用知識を一つでも定着してレベルを上げていきたい思い、 一週間後に再度解き直した 。6月の実力完成答練や総合答練では、二年目と三年目の時に苦戦していた問題がスラスラと解けるようになった。本試験では択一式が自己最高得点の53点だったが、選択式の一科目が足切りにかかり、あと一点で落ちたが大きく成長を実感できた。	
5年目 令和3年	前回の足切りは基本問題で落としているので、 暗記カードを読み込んだり、市販の選択式の問題集を解いたり、テキストの重要箇所を只管読み込んだり、択一式でも選択式を意識しながら問題を解くことに心がけた 。同時に 市販の模試、TACの模試、5年過去問を含む15種類以上の模試も継続して 解き続けた結果、中間模試で初めてA判定がとれた。その勢いで本試験に挑んだ結果、見たことのない難問に遭遇し、一瞬パニックになったものの、無意識に基本事項がしっかりと解けたため、晴れて合格することが出来ました。	

私的には、**1年目のインプット主体の勉強法と3年目の工夫のない全く同じ勉強法が失敗だ**と思っており、**少なくとも勉強時間が3,000時間以上削減できた**と思います。

今後、社労士を目指される受験生にとって少しでも参考になれば幸いです。